

近年の試験の顕著な傾向への対策と 設計製図講座の特長とは

POINT
01

近年の設計製図試験は**予測するのが
困難な課題が出題されている！**



近年の設計製図試験の顕著な傾向として、平成24年に公表された「試験内容の見直し」以降は徐々に、どのような課題の内容になるか予測が困難な、受験者の**真の建築計画力を測る内容の課題**となってきました。

POINT
02

今後の試験対策で最も重要なのは
基礎的な建築計画力！



近年の試験の特徴である予測することの難しい内容の課題への対策としては、単にいくつかの**予想問題への記憶に頼るような方法のみでは不十分で**、どのような課題にも共通し、対応できるような**基礎的な建築計画力**をしっかりと身に付けることが最も重要で確実な合格への鍵となると考えることができます。

POINT
03

合格の基礎となる**製図力・鍵となる
計画力**を徹底養成する本講座の特長！



本講座は、**設計(建築計画)及び製図**の着実な基礎力の養成から着実な合格力の徹底養成を図るものですが、特に近年の試験の傾向から、**合格のための重要な鍵となる**どのような課題にも共通し、対応できるような**基本的な建築計画の考え方、建築計画力の徹底養成を図る内容**となっております。

通学、通信講座ともに全く同一のカリキュラム、内容で、建築計画力の段階的な徹底養成を図るために作成された**全ての演習課題について添削指導**することとしており、また通学、通信講座ともに**全ての演習課題について建築計画上の考え方に重点を置いたWeb動画による詳細なサポート解説を配信**することとしております。

各段階の演習課題の内容は、本会会員の日本建築学会賞受賞者をはじめとする**第一線のベテラン講師陣が発表された本試験課題の内容を徹底的に分析、検討して作成したものであるため**、演習課題の内容が本試験の課題内容と似たものとなることもありますが、本講座はあくまでも**予想問題やパターン化した事項の記憶のみによる勉強ではなく、着実な建築計画力の養成が合格へ至る最も重要で確実な道である**との主旨から構成され、着実な実績を上げております。